

# 平成22年度 小中一貫教育の検証

## 小中一貫教育のねらい

- ・継続的で一貫性のある指導による学力向上や生活指導の取組の充実
- ・進学時の児童・生徒の心理的負担の軽減
- ・教育活動の充実による「生きる力」の育成

### 成果

- ・指導方法の工夫や教員の丁寧な問いかけなどにより、児童・生徒の学習意欲や自信の高まりが見られた。また、話し合い活動や関わり合いを増やすことで授業への意欲や児童同士、生徒同士の励まし合う姿が増えた。
- ・生徒による児童への読み聞かせや児童・生徒の発表会、意見交換会、児童会・生徒会合同活動など、今後の児童・生徒の変容につながる交流活動が実施された。

### 児童 生徒

### 教員

- ・小中の教員同士が指導方法や発達段階の違い、児童・生徒の実態について共通理解を図ることができた。
- ・カリキュラムに則した授業実践や円滑な意見交換が行われる研究協議など、目標を絞った充実した研究が実施できた。



### 保護者 地域

- ・充実した研究により保護者や地域からの安心感や信頼感が高まり、教育活動への支援・協力が増えた。



### 課題

- ・目指す児童・生徒像の絞り込みや実践カリキュラムの焦点化、各種指導方法の充実は、それぞれの推進対象校での実践から明確になった。
- ・共同研究の設定・調整、行事の連携などは、様々な工夫や努力が必要な内容である。
- ・カリキュラムの検証・改善や成果でもある教員間の交流は、今後も継続が必要な取り組みである。

